



オイスカ開発教育専門学校

せんがく便り

令和元年度
国際協力科
10月号

10月を迎えました。「誕生石」の10月を見ると、オパールやトルマリン、ローズクォーツとあります。薄紅色のローズクォーツは、その名の示す通り水晶の一種であり、石英です。石英は砂漠や砂丘の「砂」の主成分。ありふれたものですが、それが透明に結晶化すると「宝石」として貴ばれます。「結晶」とは、原子や分子が、空間的に繰り返しパターンを持って配列している状態です。ここには、学ぶべき「何か」がある様な気がします。

学生たちと考えていきたいことが、また1つ増えてしまいました。

★10月の行事予定★

- 1日（火）後期始業日
- 2日（水）農業次世代人材投資資金研修報告書（前期分）提出
- 12日（土）休業日
- 14日（月）体育の日
- 15日（火）伊佐美幼稚園体験学習
- 17日（木）オイスカ高校2年生国際協力実習（18日まで）
- 19日（土）第6回オープンキャンパス
- 22日（火）即位礼正殿の儀
- 26日（土）休業日
- 27日（日）フルーツパークオイスカイベント
- 28日（月）代休日
- 31日（木）献血、海外研修第二班帰国



★諸行事報告★

①海外研修第二班 出発（9月10日）

9月10日（火）早朝4:45より出発式を行った後、国際協力科2年Aさんがフィリピンへと旅立ちました。当日は職員だけでなく、多くの1年生も駆けつけてくれました。

それから約3週間が経ちますが、送られてくる日誌を見ると、午前中は現地の高校で授業を受け、午後はオイスカ・バゴ研修センターで農業実習を行い、なかなかのハードスケジュールの様です。しかし、高校で「フィロソフィー」の授業を受けて、現地でのキリスト教的考え方に気づいたり、地球の変化における人類の責任を皆で議論したりと、充実した日々を送っています。



②（公財）オイスカ中部日本研修センター研修

9月17日（火）より第1班、9月24日（火）より第2班が、3泊4日の日程で「国際協力農業実習」の授業として、研修を受けてきました。海外の研修生たちとの交流や本校農場の比ではない規模での有機農業実習、研修センターを支援して頂いている地域の方々への訪問、養鶏場や丹波栗という大きな実をつける栗の木の管理まで、多彩な活動に取り組んできました。センターの担当職員からも「メモをしっかり取っていて、よくやってくれた」という感想も頂きました。



③海外研修第一班報告②

8月からフィリピンに出掛けている国際協力科2年のI君ですが、ほぼ毎日、写真や日誌をアップロードしています。中学・高校と剣道部に所属していた経験を活かし、現地のショッピングモールで、約500人の観客を前に「演武」を披露したり、最近では現地の方々に日本語の指導をしたりと、何事にも全力で取り組んでいます。

